

(株)ターナリー



アジアを中心に、家具やインテリア、雑貨などの企画・開発・製造を行い、全国のホームセンターや量販店、専門店、問屋へ輸入販売をしています。



代表取締役 前田健太郎

広川町大字新代 2188 番地 1
 広川 SUNビル 2F
 ☎ 0942-25-8295
 設立 / 2021 年 8 月
 事業内容 / 輸出入・貿易

創業のきっかけ

家具やインテリア、雑貨を取り扱う貿易会社に 10 年勤めました。その中で、開発に携わった商品が市場に並ぶ喜びやお客さまからのうれしいお声、新しい発見など、貿易の重要性だけでなく、仕事の楽しさも学ぶことができました。その経験を活かし、より良い商品を社会に発信し「お客さまや地域社会、さらには日本経済に貢献する会社を実現したい」という想いのもと、2021 年 8 月に会社を設立しました。

創業塾で学んだこと・創業補助金の活用

新規創業のため、右も左もわからない状態でした。そこで広川町商工会へ相談に行き、開業・経営をしていく中で必要不可欠な「事業計画」や「資金繰り」など、さまざまなご指導やご支援をいただくことができました。創業補助金制度を受けることもでき、開業資金の負担を軽減することができたため、非常に助かりました。

今後の展望

世界は常に変化し続けており「商品」や「サービス」においても革新が求められています。私は、貿易という事業を通じ「日本と世界の架け橋役」として、新しいことにチャレンジし続けていこうと考えています。

広川文芸

ひろかわ俳句会



避難終へ帰宅の庭の曼珠沙華
 秋の蚊やしつかりかゆし夕まぐれ
 杖頼り登れば涼し背振山
 十五夜の無言の神秘力湧く
 穂芒の風に走るや草千里
 秋雨の大樹のしづく音楽で
 この星の平和を願ふ原爆忌
 もう少し開けておこうか秋の窓
 青天にすくと燃え立つ曼珠沙華
 嵐過ぎ戻る青空秋彼岸
 聞き役に徹する老いや夜の長き
 けふからは朝日背に負ふ散歩径
 秋海棠雨のしづくの重たくて

一瀬砂智子
 渡辺 弘子
 一瀬砂智子
 福田美知子
 結束 節子
 原口 正信
 原口あつ美
 野中 勝美
 酒井 司
 柴田 眞理
 水本 辰次
 水本 艶子
 美座 時朗
 青木佳代子

櫻の会

病みあがり夏から茂る草ぬきて踏んばる足にうろこ雲見る
 入念に手を洗へども糠床のかほり残りマニキュアの指
 釘一本打てぬ吾が身のぶきつちよさ寄り添ふ夫にごまをすりつつ
 壮大な八千竈の花火あと足元照らす陽人のランタン
 うから等と白水公園パーベキュー線香花火で最後の宴
 老ふたり足の弱りて草茂り畑泣きをり野菜つくれと
 カーテンを開くるやこころ浮遊する屋並の果ての透きとほる青
 パンパンまわしをたく音冴えて土俵狭しとり組む力士

山崎美代子
 中倉 明美
 中嶋 玉子
 細川 徳子
 濱武美智子
 青木佳代子
 野中 勝美

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

南北朝時代の郷土 その11

大保原の戦いに勝った宮方が、九州征西府を開く

正平14年(1359年)8月、大保原の激戦に勝った宮方はその2年後、同16年8月少弐氏の本拠地大宰府を陥し、征西府を設置します。後醍醐天皇の宿願であった南朝政府です。数ある皇子の中で、それを成し得たのは懐良親王ただ一人です。

この先12年間は、この征西府が対外的にも日本国を代表する窓口となり、その盟主である親王は、日本国王と認識されるのです。

その一方の北朝側としては九州に限ってとはいえず、南朝ペースでの政権を認めることは、到底できることではありません。

今川貞世の登場

武家方では九州統括の任を九州探題が担っていました。

征西府が設置されてからは、外交権さえも奪われてしまいます。しかしその政権基盤は日々、堅固なものとなっていくきます。

そこで幕府(北朝政権)が派遣してきたのが、今川貞世(了俊とも)です。

征西府の陥落、
宮方は高良山へ撤退

今川貞世は息子の義範を、豊後国へ先遣させ、弟の仲秋を肥前国松浦に上陸させ、本人は建徳2年(1371年)12月19日、門司に上陸しています。三方向から大宰府征西府を攻める周到な作戦です。

翌文中元年(1372年)8月12日、合流した今川勢に攻められて、征西府は遂に陥落します。

宮方は筑後川を渡って、高良山まで撤退し、ここに御在所を構えます。高良山の参道二の鳥居を少し登ると馬蹄石があります。その上部に密柑屋敷という地名が残っています。そこが高良山御在所跡と考えられています。

宮方は星野谷へ撤退

文中3年11月12日、八丁島(現久留米市宮ノ陣町)に陣を敷き、筑後川を挟んで対峙していた今川勢が、川を渡って宮方勢を攻めます。

宮方は石垣(久留米市田主丸町)方面へ移動し、耳納山を越えて星野谷へと撤退を余儀なくされます。小野(現八女市星野村小野。小野神社の

場所)に御在所を構えたのが、星野御在所です。

星野谷は南北両側に峻嶺が連なっていて、有史以来このかた、敵が侵入した例はありません。

この時も今川勢はというと、耳納連山の北麓を西に大きく迂回して、藤山(久留米市)北川内・黒木(八女市)へと押し寄せたことが、古文書により明らかですが、星野谷への侵入は叶いませんでした。

征西將軍職を良成親王へ譲る

高良山撤退の過程で、懐良親王は將軍職を甥である良成親王へと譲られています。



▲親王お手植えと伝わる、銀杏の大木が歴史を語る。
(八女市星野村)

広川町古墳資料館だより

11月13日(日)に、古墳公園資料館周辺で「ひろかわ古墳まつり」が開催されます。10月号で紹介した西平孝史氏が来館し、凝灰岩の板石に直弧文を彫刻できる体験イベントや勾玉・銅鏡づくりを企画しています。本来ならば、この日は

弘化谷古墳の一般公開となりますが、今年まで中止することになりました。来年4月の第2(日)には、公開を再開する予定です。双脚輪状文が描かれた壁画のレプリカや映像は、館内をご覧ください。



▲体験イベントでの銅鏡づくり